

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 7 年 8 月 1 日

所在地 甲州市勝沼町勝沼 3 1 1 1 - 1

企業名 山梨ワイナリー協会

代表者 会長 向山 洋仁

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

当協会は、山梨を代表するワイナリー 6 7 社が加盟する組織として、山梨県の特産品である「ワイン」の品質向上と維持に努めることで、ワイン産業の「持続可能な開発目標 (SDG s)」の達成に貢献し、持続可能な社会の実現に努めます。

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び指標の進捗状況	
			登録年月日：令和 5 年 8 月 1 日	
✓環境 □社会 □経済	高品質な製品の提供 (産地、ブランドの維持向上)	年 1 回鑑評会の実施 年 1 回以上の研修会の実施	山梨県ワイン鑑評会開催。 中小企業診断士を講師に招き、「強いブランド作りのポイント」のテーマで研修会を開催。	(進捗率) 100%
□環境 ✓社会 ✓経済	働きやすい職場環境の実現	年 1 回以上の研修会の実施 各種情報の迅速な共有	山梨県ワイン鑑評会にて、今注目すべき県外ワインを参考出品としてきき酒を行う。所管官庁が発する文書、資料ポスターを会員に配布。	(進捗率) 100%
□環境 ✓社会 ✓経済	地域貢献への接触的な取り組み	国税庁主催「未成年者飲酒防止キャンペーン」「税を考える習慣」等酒類に関するイベントへ年 2 回以上の参加。	未成年者飲酒キャンペーン、納税街頭キャンペーン、確定申告該当 PR 活動、税を考える書道展への参加。	(進捗率) 100%

2030 年の目指す姿

当協会の活動が会員各社の SDG s に関する取組みの先導となり、会員各社での SDG s に関する取組みが活発化するうえでの中心的な存在になる。

会員に対する継続的な情報の提供により、各社が SDG s を念頭に置き、各種事業活動に取り組んでおり、

ファイナリー業界全体で持続可能な経営が確立出来ることを目指す。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第3号）「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」（要件2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の **3 側面の全てについて** 重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。